

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立新居浜特別支援学校

学校番号 (54)

評価実施日

令和5年2月15日(水)

委員	氏名	所属等	備考
	大西 悦子	絵手紙サークル「ゆめの会」会長	
	佐々木 龍	新居浜医療福祉生活共同組合理事長	
	三上 祥恵	新居浜市障がい児者相談支援事業「生活支援センターわかば」所長	
	豊田 昭男	元・新居浜市社会福祉協議会 中萩支部支部長	
	三並 保	新居浜市中萩公民館館長	
	木村絵理子	P T A会長	
	室塚 麻美	P T A副会長	
	向井 英美	P T A副会長	
	安藤 裕子	P T A副会長	
	松本 紘枝	P T A副会長	
	伊藤 義男	P T A副会長	
	馬越真奈美	P T A副会長	

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

1 今年度の最終評価について

(1) 学習指導

授業のわかりやすさに関する評価が上がっているのは良い傾向である。ICT機器の活用は、導入当初は珍しさもあって効果が上がりやすいが、継続していくには教材ソフトなどの更新が必要である。

(2) P T A活動

P T A活動の活性化に関する項目において、「分らない」が19.2%である。保護者が参加しやすい形態や活動に関する情報発信の工夫が必要である。

(3) 健康安全

国道のバス停付近で、よく生徒を見かける。交通安全などの指導はなされているが、更なる安全に向けて指導をお願いしたい。

2 学校運営への提言

(1) 来年度から女子児童生徒のスラックスタイプの制服を選択できることは、健康対策やジェンダーフリーの観点からもよい。その他の校則の見直しをすすめていただきたい。

• ICT機器の活用に関してより効果的な活用方法を研究する。児童生徒の実態に応じた意思伝達の手段としてのICT機器の利用についても更なる検討する。ICT活用レベルアップ研修会で学んだことやグループ研修での成果と課題を教職員で共通理解を図るとともに、レベルアップに努める。

• 保護者が参加しやすい活動になるよう改善し、これからも様々な機会を捉えて、書面だけでなくホームページも活用して、保護者や地域の方への情報発信に努める。

• 校外での見守りや指導箇所と指導回数を増やすとともに、単独通学生指導の充実を図る。児童生徒の発達段階に応じてルールやマナーを守る意義や、守ることで自分や周囲への影響についても理解できるようにし、児童生徒が成長を感じられるような生徒指導を行う。

• 引き続き校則の見直しを含め、児童生徒の実態に応じた学校運営に努める。